

松陽地区 コミュニティだより

■編集・発行/
松陽地区コミュニティ推進協議会
■住所/
十和田市大字立崎字立崎20-2



里平の皆さん、今回は残念ながらコロナが発生し出演できませんでしたが、来年は是非とも出たいと坂本事務長から励ましの言葉をいただきました。大変ありがたいことです。

また、各町内会からもご協力をいただきました。踊りやカラオケ、コントなど更には勇壮豪快な「立崎の駒踊り」などには、たくさんの「お花」が上がるなど大変盛り上がりました。

初めての企画でしたが、帰り際に「楽しかった」、「面白かった」、「来年は私も出てみたい」との声を聞き大きな勇気をもらいました。

来年度開催に向けて、もっと多くの皆さんが参加できるように、今回は土曜日でしたが、日曜日はどうなのか、運営や進行など問題はなかったのか検討しなければならぬと思っています。

コミュニティ組織を創ってまだ2年足らず、まだまだ組織上の問題や運営への課題など数多くありますが各町内会長、体育振興会、防犯協会松陽支部、大深内小中学校、PTA、各機関等のご協力、ご支援のもとに密接な連携を図りながら活動してまいりますので宜しくお願いいたします。

「青少年に夢を・高齢者に生きがい」を頑張ります。

ふれあいフェスタに参加して



豊ヶ岡保育所
所長 竹内 真由美

「小さい子どもに会う機会がないからうれしいね」「上手に発表出来たね」と声をかけてくださり、喜んでいただけました。

その後も発表を楽しんだり、ご厚意が飛び交う様子が見られたり、地域ならではの盛り上がり懐かしさを感じることができました。

子どもたちにとってもいい経験となり新たな楽しみが増えました。地域に支えられている保育所です。今後も地域のために活躍したいと思えます。

12月上旬にフェスタ参加のお誘いを受け、担任と「どんな発表会にしようか」と相談しました。おゆうぎ会が終わり、子どもたちの成長も大きく感じられていた時。今年度は運動会でも組体操を発表し、大きな自信へと繋がっていたので、子どもたちが大好きな曲に乗せ、組体操を発表しよう！とすぐに決まりました。

もう一つは歌。小学生のような素敵な歌声とまではいきませんが、歌うことが大好きな子どもたちなので、ぜひ歌声を聞いてほしいと思ったのです。

1月後半より、少しずつ練習を始めました。3歳児の子どもたちも、年長さんをお手本に、頑張っついてきてくれました。

いよいよ本番。バスでの移動は遠足気分、それだけで浮かれ気味。たくさんのお客さんの前にとっても緊張した様子でしたが、のびのびと楽しんで発表できました。地域の方々が、「かわいいね」



第1回 松陽地区「ふれあいフェスタ」特集!!



踊り「男 節」
立崎町内会 立崎 ゆり子さん



カラオケ「アイヤ子守歌」
豊ヶ岡町内会 佐藤 一正さん



唱(組体操) 豊ヶ岡保育所 さくら・すみれ・たんぽぽのみなさん



カラオケ「兄弟船」
八斗沢町内会 斗沢 康二さん



コント「神様と農夫」
立崎青年部 妻神 誠司さん、他



合唱「花は咲く」
豊ヶ岡保育所のみなさん



観客も一緒になりながら「フェスタ」を楽しみました



最後まで大きな声と拍手で「頑張れー」と声援



観客の大きな拍手が出演者の励ましになります



講演「詐欺被害の実態と予防対策について」
十和田警察署生活安全課 巡查 吹切 香大さん



踊り「あなたの花道」
東栄町内会 大久保 幸子さん



最後は勇壮豪快な、南部駒踊り立崎保存会の皆さんによる「駒踊り」で締めました。



園児の皆さんも大人の演技に一生懸命応援しました



JOYSOUND
カラオケ「伊豆の国」
豊ヶ岡町内会 大下内 真一さん

市町連会長と語る会開催



ド力雪に見舞われる中、2月27日(火)に立崎公民館で松陽地区の町内会長やコミュニティ関係者が集まり、十和田市町内会連合会長「升澤会長と語る会」を開催しました。

これは、升澤会長が直接各町内会等に出向き、町内会活動に対する課題や悩み、また、市政に対する要望など地元の声を聞き、今後の町内会活動を活性化させようとするものです。市町内会連合会から、升澤会長、太田総務部長、事務局の明山さんがお越しになり、和やかに率直な厳しい意見が出された「懇談会」でした。

最初に、升澤会長から市町内会連合会の活動概要の説明があり、安心、安全な街づくりを行政と一緒に進め、誰もが住み続けたい十和田市を目指し、4部会で各種事業を展開しており、特に「市と町内会との懇談会」や若者を町内会活動に参加させる方策を探るため「町内会活性化委員会」を立ち上げたこと、さらにはいざという時の災害に備え、「地域密着型防災訓練」を開催していることなど話されました。

当日は、大雪に見舞われ出席者も少なかつたこともありましたが、参加者からの自己紹介の後、意見交換を行いました。
・ゴミ箱の塗装をしたいけど助成はあるのか。
・地域に小、中、高校生がいなく、70歳以上



上の高齢者が多く活動に支障をきたしている。

・若者の地元離れがある。農家が地元になく町から通ってくる人が出てきた。

・市役所に書類を届けることがあるが、何回もいかなければならない。郵送とかがもっと簡素化出来ないものか。

・共同募金や日赤社費など徴収に反発も多く苦労している。

・小学校のスクールバスに中学生も同乗できないものか。せめて冬場だけでも。

・小学校があるときは通学路の草刈りを行ってきたが、廃校になり、町内会で実施するには高齢者が多くなっており難しくなってきた。

など、多くの意見や要望が出されました。

市内には、292の町内会があるようですが、それぞれに悩みや課題を抱えているようで、特に少子高齢化に対応した活動をしていかなければならないと痛感しました。当地区は11町内会ですが、今後とも密接な連携を図りながら活動を進めていきたいと思います。

大深内小学校区保健協力員活動反省会を開催

保健協力員は、日頃から地域の見守りや地域活動、健診PR活動、研修会への参加など地域の健康づくり活動を行っており、各町内会からの推薦を受け松陽地区では9名が活動しています。

この度、2月21日に立崎公民館で松陽地区と洞内地区合同で今年度の活動を振り返る「大深内小学校区保健協力員活動反省会」が開催されました。

・早期健診や2歳児発達健康診査への協力

・早期健診(問診誘導)では、今年から大深内小・中学校で初めて行ったが流れがスムーズに行われたこと。また、統合後の新しい学校を見学することができ良かった。

・2歳児健診(子どもの見守り)では、子どもと触れ合う機会が少ないため、健診時に触れ合うことができ良かった。子どもが可愛かった。

・さわやか健康講座(健康増進課が主催している健康に関する講座)では、講師の先生が毎回面白い方で内容も分りやすく楽しく話を聞くことができた。

・地域活動では、PRチラシを配布したが、普段なかなか話す機会がない住民と話すことができて良かった。(健診チラシは人数が多い町内会は広報と一緒に配布してもらい、少ない町内会は毎戸に配布した)

・町内会活動では、老健とわだと一緒に「芋久保食堂」を開催。なが芋を使っ



た料理を提供し大変喜ばれた。

・12月に食生活改善推進員とコラボして実施した健康教室を参考にして、地域の集まりがある時に「お浸し」を作って提供したら好評だった。次の「いきいき教室」時にランチとして提供した。など様々な意見が出されました。

地域では農業の後継者がいない。施設に入る高齢者や地域から抜ける人も出てきた。隣人と付き合いがなくなってきたなど深刻な話題も出てきましたが、これからは、健診のPR活動を行い「受診率」を高めたい。「健康教室」で人を集めることは大変だが声掛けやチラシ配布などで呼びかけたい。など積極的な意見も出され今後の活動に期待したいと思えます。

病気の予防は、早期発見、早期治療です。そのために毎年1回は必ず「健診」を受診しましょう!